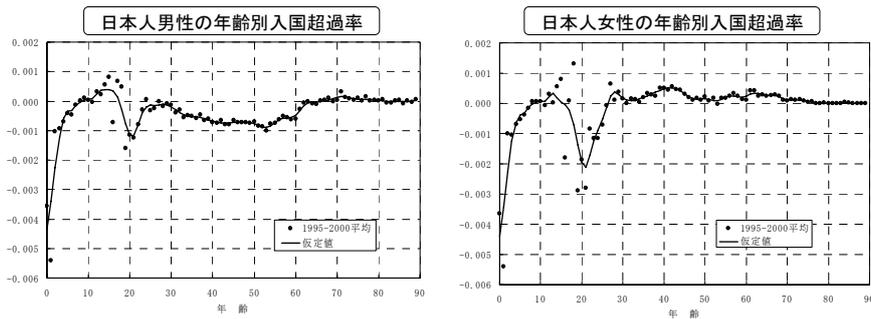


国際人口移動の仮定設定について -1

日本人の国際人口移動

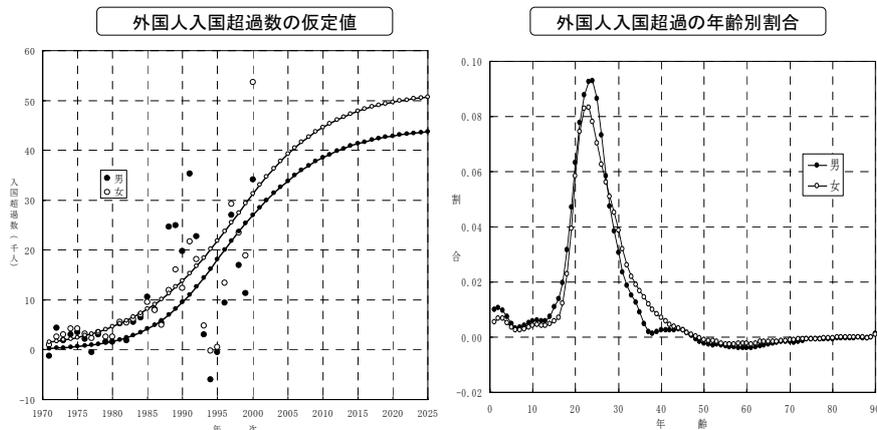
日本人の国際人口移動については、性、年齢別純移動率(入国超過率)の1995~2000年の平均値を求め、さらに、偶然変動によるブレを取り除くため補整した率を、2001年以降一定とした(左図:男子、右図:女子)。



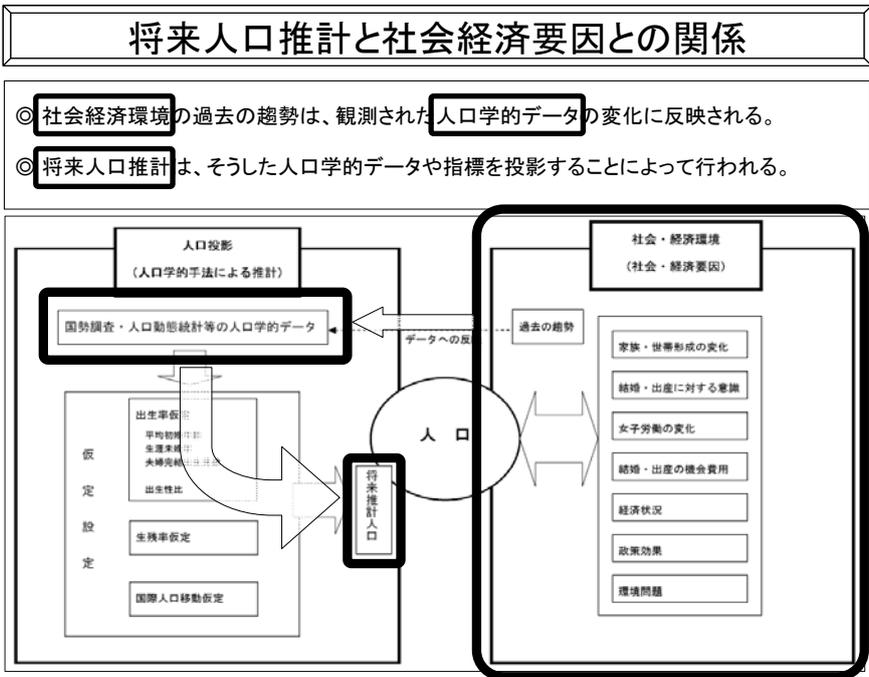
国際人口移動の仮定設定について -2

外国人の国際人口移動

外国人の性別入国超過数については、近年の実績をロジスティック曲線により補外して求めた(左図)。入国者の年齢別割合は、1995~2000年の平均値を一定とした(右図)。



社会経済要因について



将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。



● 将来人口推計では、人口投影という考え方をを用いて客観性の保持に努める。
 人口投影 = 科学的根拠(豊富な客観データ + 標準的な手法)
 に基づく推計



● 公的将来人口推計は、広範な目的に対する基準となることが重要な役割。
 → 客観的、中立的であることが必要。

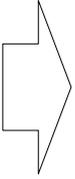


● 将来は確定したものではなく、正確に知りうるものでもない。
 → 将来の社会を定量的に正確に描く科学的手法は存在しない。

将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。

社会
経済
環境



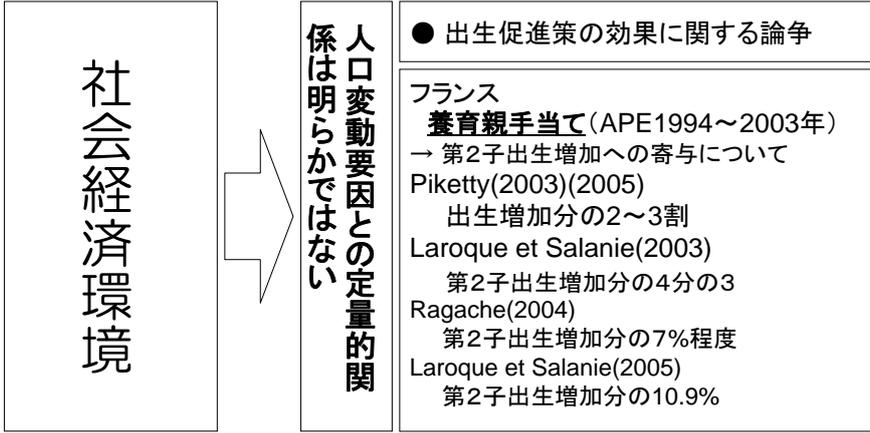
要因の数が多く、
相互の関係は複雑である

● 出生、寿命、人口移動などの人口変動要因との定量的関係は明らかではなく、また安定的なものでもない。
 → 社会経済要因の仮定を人口推計に反映させることは困難。

● 人口推計の仮定値として、社会経済要因の長期にわたる将来推計が可能か。
 → 社会経済要因を取り入れることにより、人口推計の精度の向上が可能か。また、客観性、中立性が確保できるか。

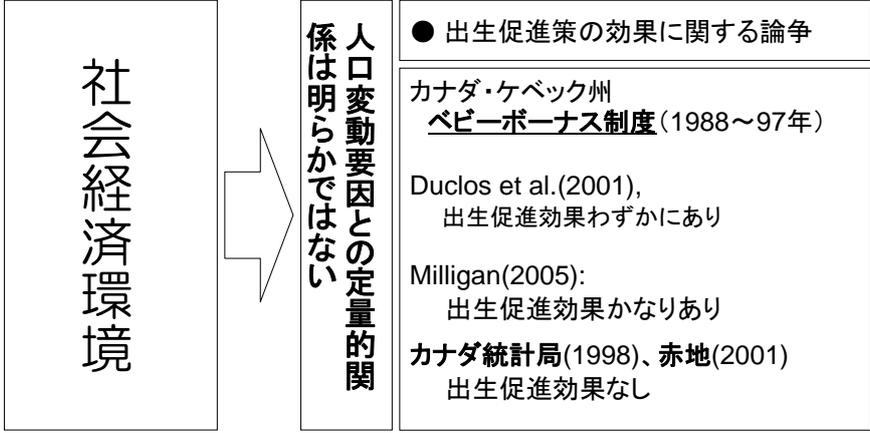
将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。



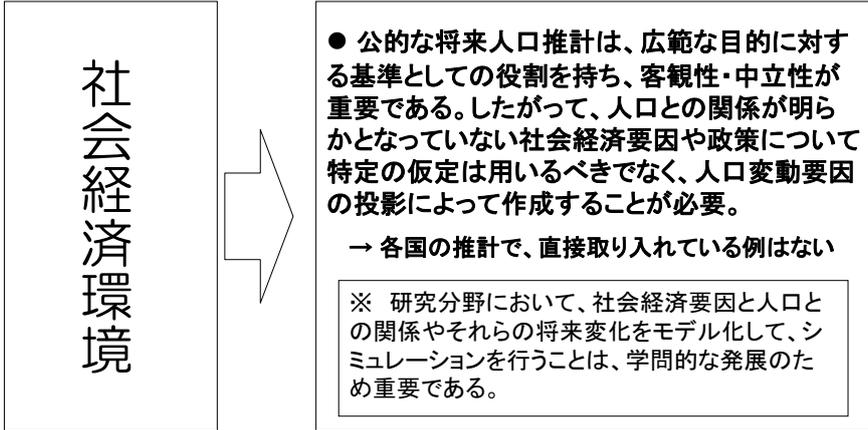
将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。



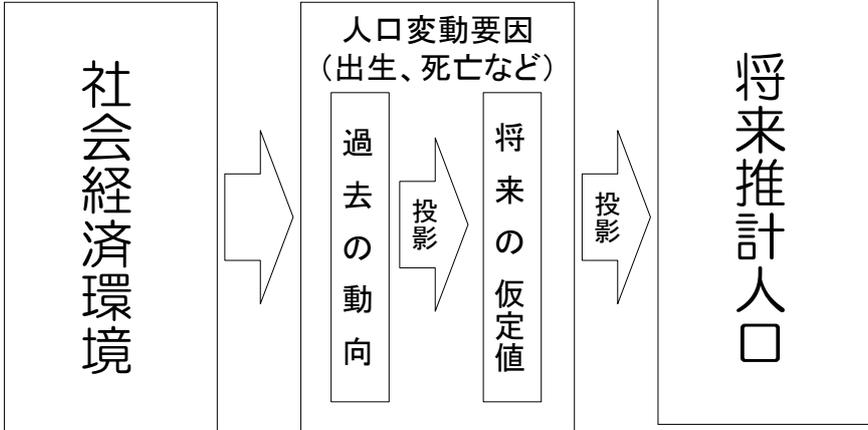
将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。



将来人口推計と社会経済要因との関係

- ◎ 社会経済環境の過去の趨勢は、観測された人口学的データの変化に反映される。
- ◎ 将来人口推計は、そうした人口学的データや指標を投影することによって行われる。



Ⅱ. 将来人口推計の検証

－ 平成14年推計の評価 －

人 口 の 評 価

平成16(2004)年年齢別人口の実績値(総務省推計)と 推計結果(中位)の比較

実数の比較

(単位:1,000人)

| 年齢 | 平成16(2004)年人口 | | 差 (推計-実績) | 差の内訳 | | |
|--------|----------------|---------------|--------------|------------|------------|---------------|
| | 実績値 (総務省推計) | 推計値 (中位推計) | | 出生率 による | 生残率 による | 国際人口 移動による |
| 総数 | 127,687 | 127,635 | -51 | 97 | -222 | 74 |
| 0～4歳 | 5,736 | 5,830 | 94 | 97 | -0 | -2 |
| 5～64歳 | 97,075 | 97,083 | 9 | - | -6 | 15 |
| 65～74歳 | 13,809 | 13,770 | -39 | - | -30 | -9 |
| 75歳以上 | 11,067 | 10,952 | -115 | - | -186 | 70 |

人 口 の 評 価

平成16(2004)年年齢別人口の実績値(総務省推計)と 推計結果(中位)の比較

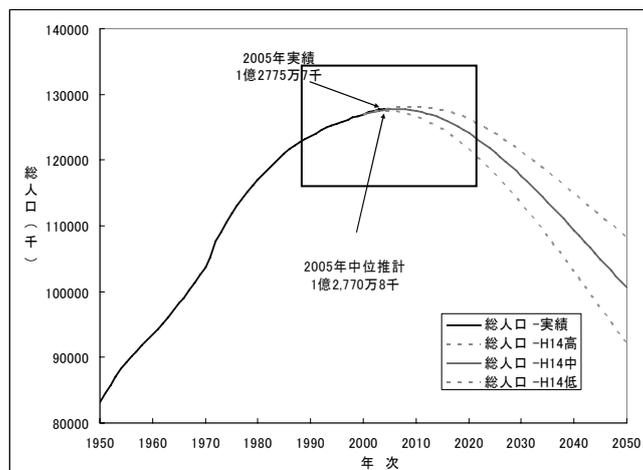
実績値 = 100 とした比較

(%)

| 年齢 | 平成16(2004)年人口 | | 差 (推計-実績) | 差の内訳 | | |
|--------|----------------|---------------|--------------|------------|------------|---------------|
| | 実績値 (総務省推計) | 推計値 (中位推計) | | 出生率 による | 生残率 による | 国際人口 移動による |
| 総数 | 100.0 | 99.96 | -0.04 | 0.08 | -0.17 | 0.06 |
| 0~4歳 | 100.0 | 101.65 | 1.65 | 1.69 | -0.01 | -0.04 |
| 5~64歳 | 100.0 | 100.01 | 0.01 | - | -0.01 | 0.02 |
| 65~74歳 | 100.0 | 99.72 | -0.28 | - | -0.22 | -0.07 |
| 75歳以上 | 100.0 | 98.96 | -1.04 | - | -1.68 | 0.64 |

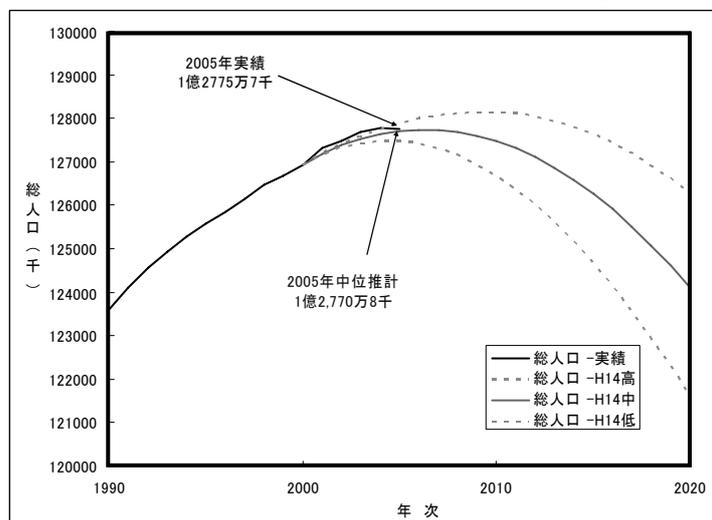
実績値と推計値－総人口

総人口－ 1950～2050年

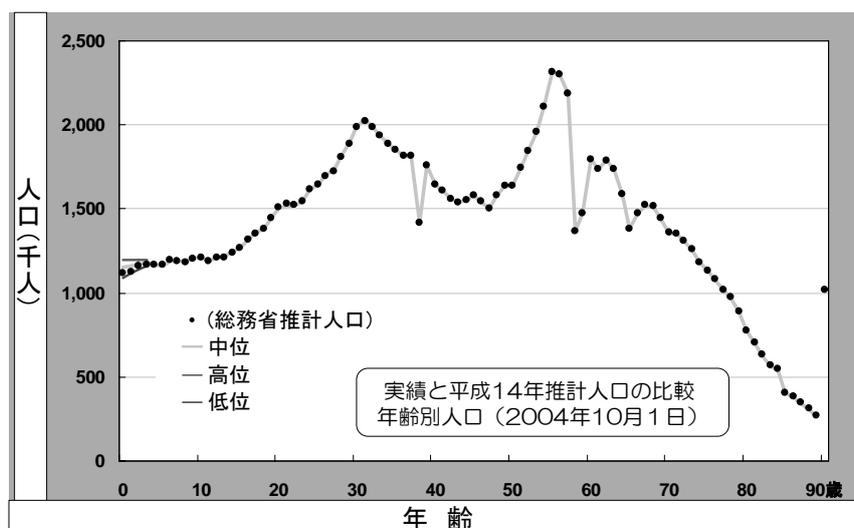


実績値と推計値－総人口

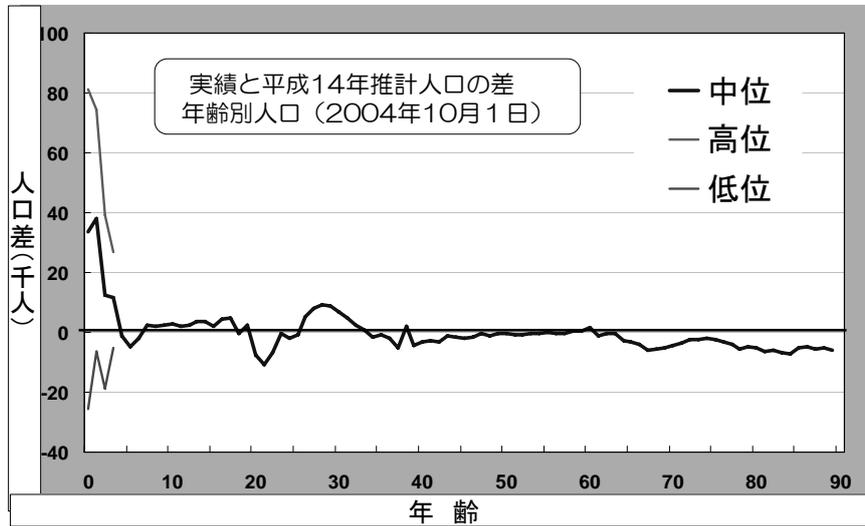
総人口－ 1990～2020年



年齢別人口の検証



年齢別人口の検証

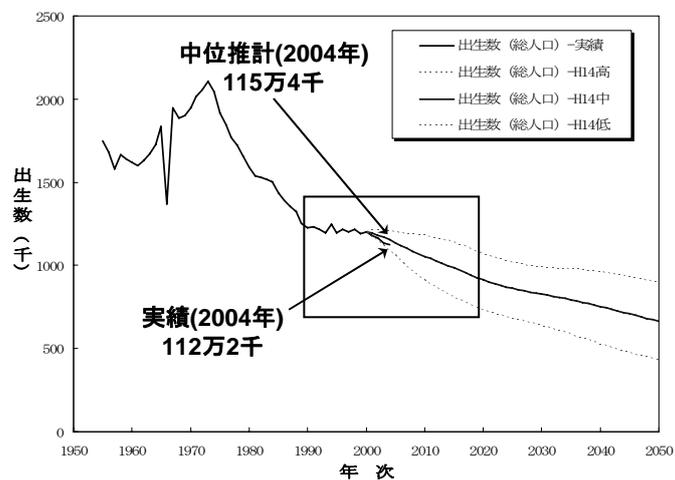


実績値と推計値(仮定値)との比較

出生

実績値と推計値－出生数

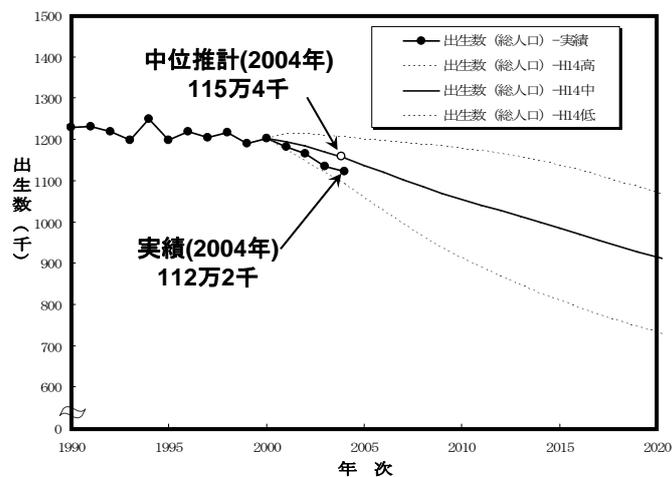
出生数（総人口）－ 1950～2050年



出生数（総人口）は日本における日本人と日本における外国人の合計

実績値と推計値－出生数

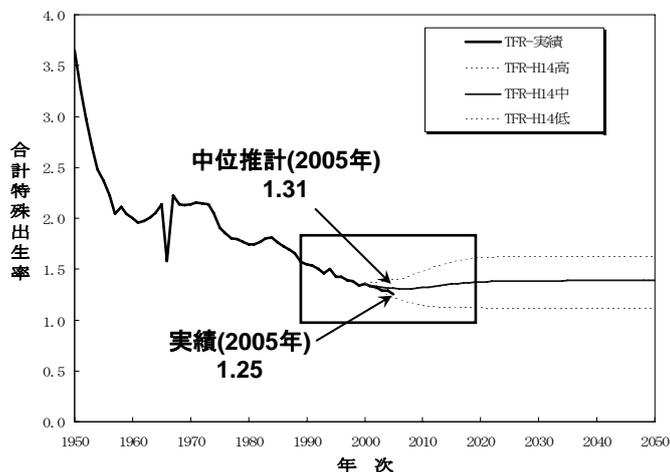
出生数（総人口）－ 1990～2020年



出生数（総人口）は日本における日本人と日本における外国人の合計

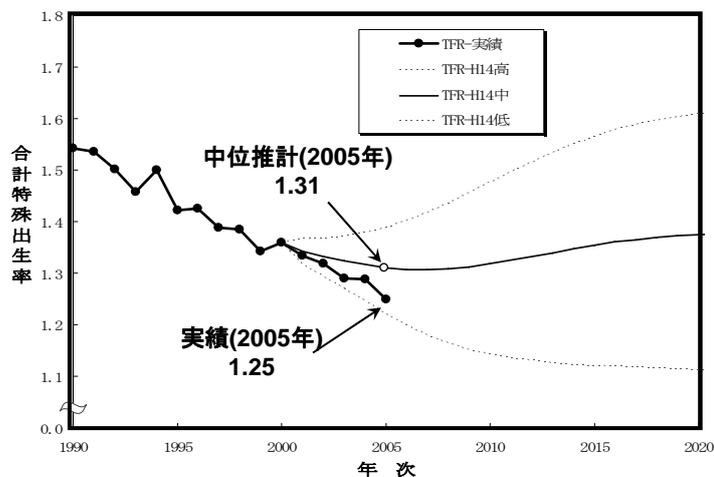
実績値と仮定値－期間出生率

合計特殊出生率（日本人）－ 1950～2050年



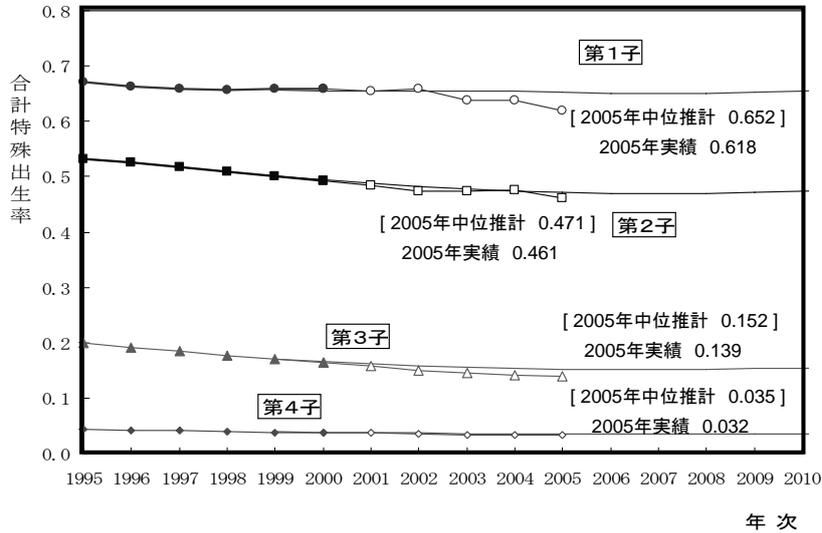
実績値と仮定値－期間出生率

合計特殊出生率（日本人）－ 1990～2020年



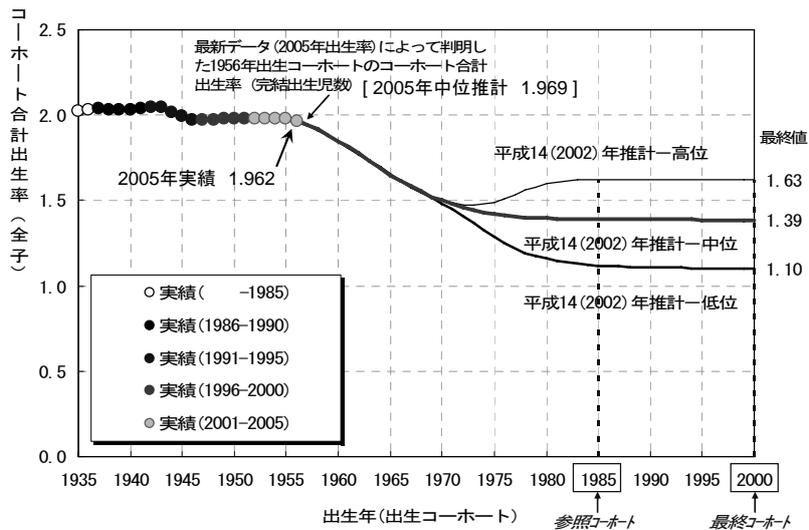
実績値と仮定値－期間出生率

出生順位別出生率（日本人）－ 1995～2010年



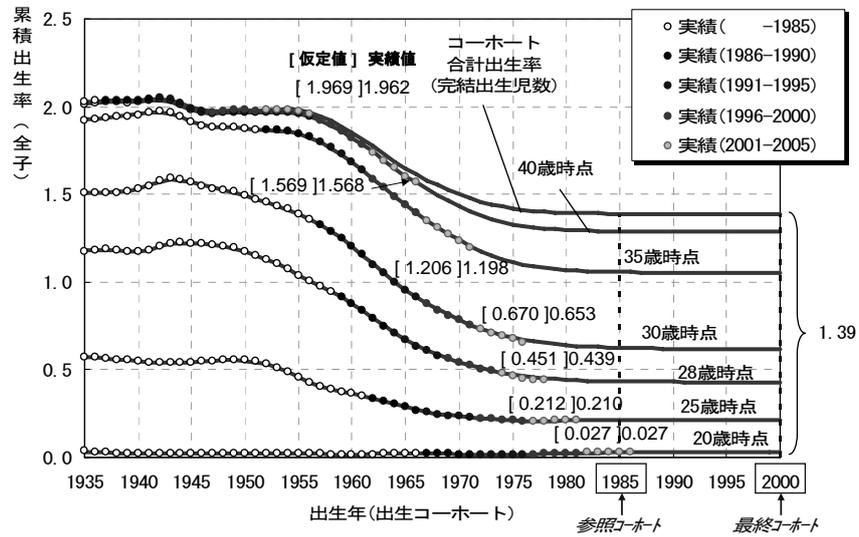
実績値と仮定値－コーホート出生率

コーホート合計出生率（日本人）－ 1935～2000年生まれ



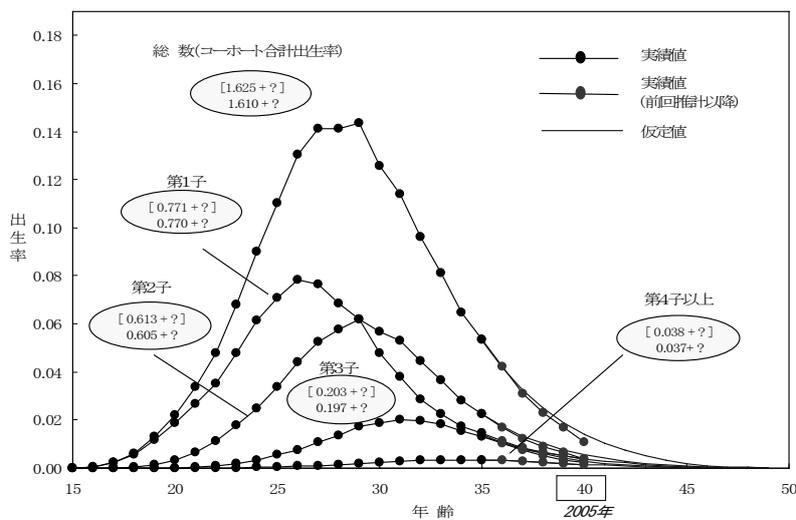
実績値と仮定値－コーホート出生率

コーホート年齢累積出生率（日本人）－1935～2000年生まれ



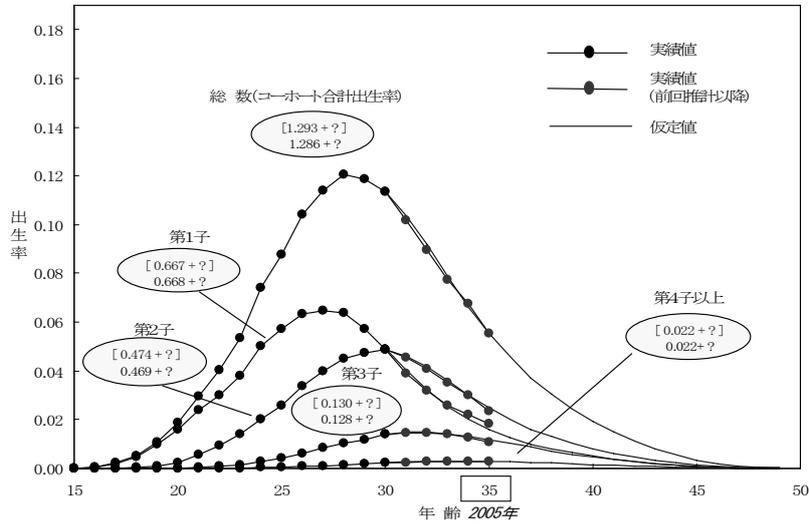
実績値と仮定値－コーホート年齢別出生率

出生順位別、年齢別出生率（日本人）－1965年生まれ



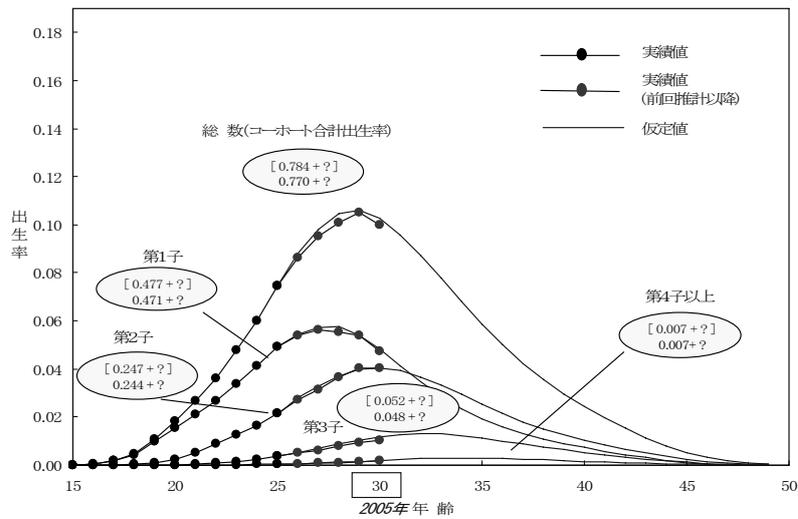
実績値と仮定値－コーホート年齢別出生率

出生順位別、年齢別出生率（日本人）－1970年生まれ



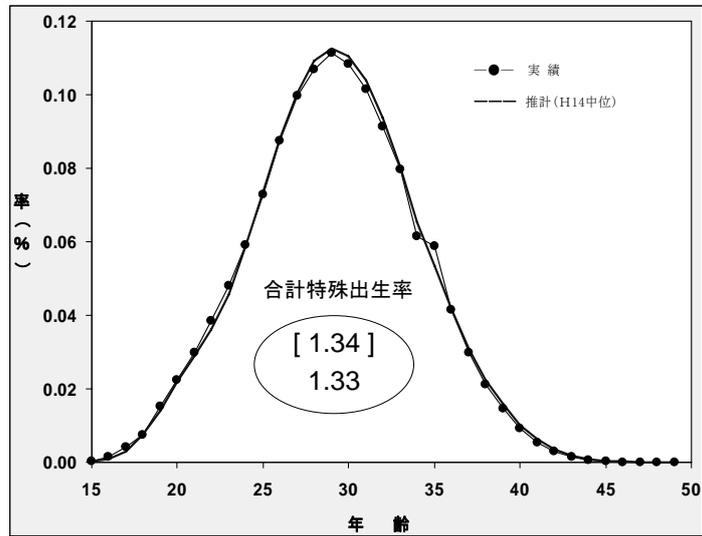
実績値と仮定値－コーホート年齢別出生率

出生順位別、年齢別出生率（日本人）－1975年生まれ



実績値と仮定値－期間年齢別出生率

期間年齢別出生率（日本人）－ 2001年



実績値と仮定値－期間年齢別出生率

期間年齢別出生率（日本人）－ 2002年

